

## ライフセービングクラブ設立の説明会が行われました。

陸前高田市 B & G 海洋センター（岩手県）



陸前高田市周辺には美しいリアス式海岸が続いており、夏になると 1 日に数万人もの海水浴客が詰めかけます。

「たくさんの人で賑わう海水浴場ですが、いままではアルバイトの監視員や漁協、観光協会の職員らが見回る程度で、ライフセーバーの資格を持つ人がいませんでした」

青年会議所の青少年開発委員長を務める熊谷成樹さんは、日頃、海洋センターのプールに通って水泳を楽しんでいましたが、青少年の健全育成を考える立場からライフセービングクラブの設立を頭に描くようになっていきました。

「たまたま、東北地方で唯一活動をしている久慈のライフセービングクラブのメンバー松原さんが、転勤でこちらへやってきたので、これは絶好の機会と受け止め、さっそく 5 月にクラブ設立へ向けた説明会を海洋センターで開きました」

当日は、ウインドサーフィンの愛好者などマリンスポーツに関心の高い男女 6 名が集まり、なかには「東京で息子がライフセーバーをしているので、夏休みに帰省した際は、ぜひとも手伝ってもらおうと考えています」といった、中高年のお父さんもいました。

「久慈のクラブでは、高校生も参加するようになって地域全体が活気づいたそうです。私たちが開いた説明会の後にも、新聞の記事や海洋センターに貼ったポスターを見て、何人かの高校生たちが問い合わせしてきました。クラブができたなら、長い目で子供たちの活動を見守っていきたいですね。

なんといっても地域に根ざした活動が一番大切で、そこから底辺が拡大していくのだと思います。志は高く持ちたいのですが、いまは勉強中。できるところから1つずつ行動していきたいですね」

一歩ずつでも、夢をかたちにしようと考えている熊谷さん。ライフセービングのすばらしさを知った若者が、都会からUターンして戻ってきてくれるかも知れない。そんな希望も抱いているそうです。